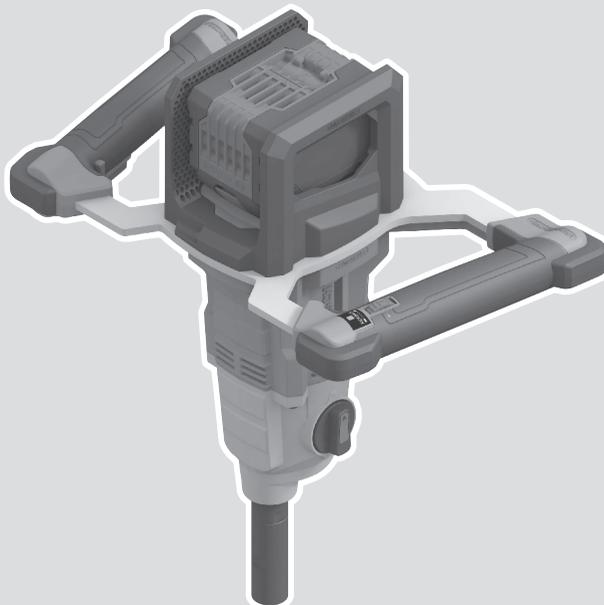




GRW 18V-160



取扱説明書

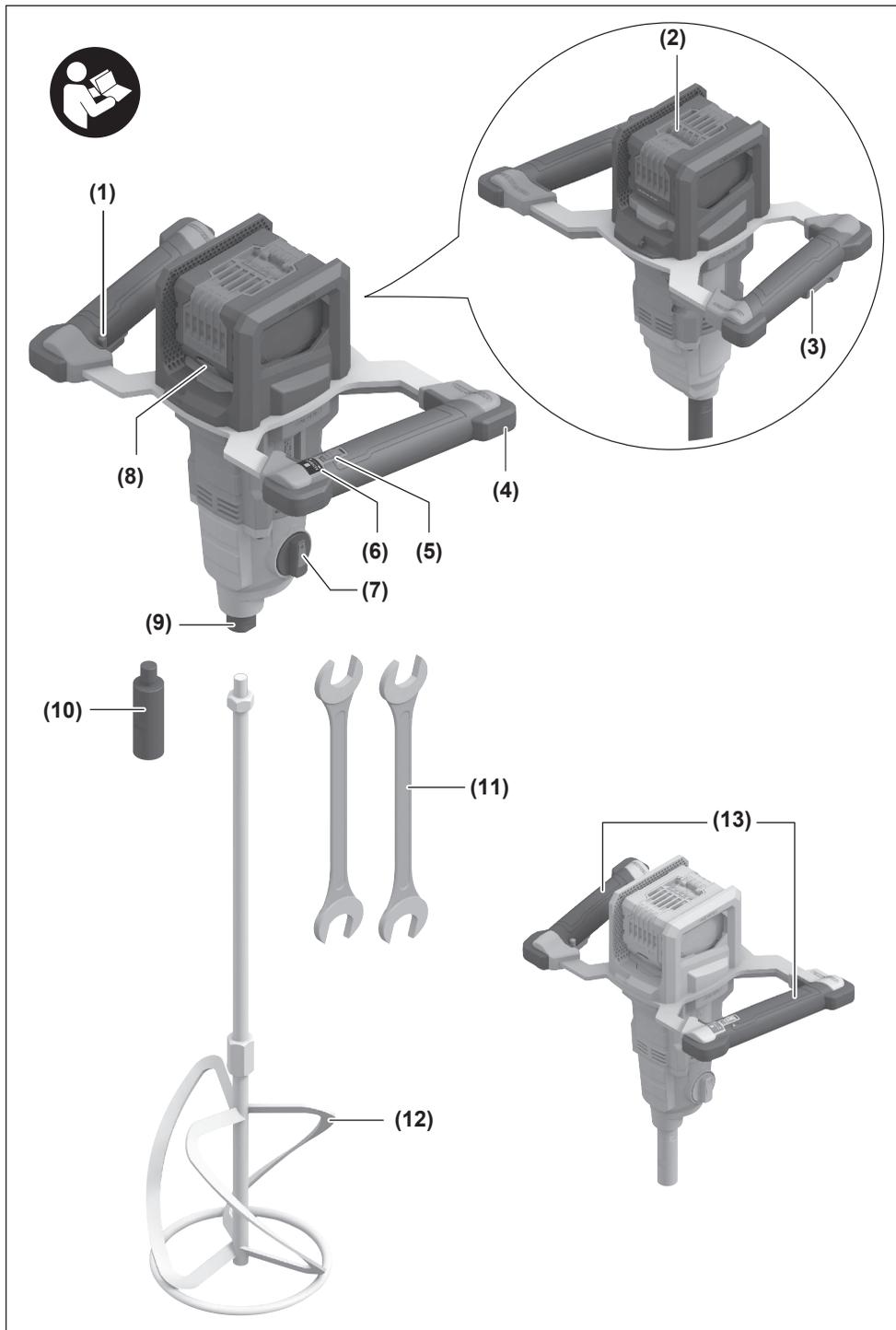
このたびは、弊社コードレスかくはん機をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



目次

用途	4
記号について	4
警告表示の区分	4
安全規則.....	4
一般的な電動工具の安全に関する警告	4
安全上のご注意.....	6
コードレス電動工具全般についての注意事項.....	6
かくはん機についての注意事項	10
本製品について	10
各部の名称	10
標準付属品	10
仕様	10
使い方	11
バッテリーを準備する	11
作業前の準備をする	12
作業する	13
バッテリーを長持ちさせるために	14
リサイクルのために	15
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください.....	15
お手入れと保管	15
クリーニング	15
保管	15
廃棄について	15
困ったときは.....	15
故障かな?と思ったら	15
修理を依頼するときは	16
保証サービスについて	16



用途

- ◆ 塗料、吹付材（砂壁状、タイル状）、モルタル、レベラーなどのかくはん

記号について

警告銘板、電動工具、取扱説明書には下記の記号が表示されています。

記号の意味を十分理解して電動工具を使用してください。

記号の正しい解釈は、商品をより安全な方法で使用するために役立ちます。

	注意してください
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
	リサイクル識別表示マーク（リチウムイオンバッテリー）
	リサイクル識別表示マーク（紙製容器包装）
	リサイクル識別表示マーク（プラスチック製容器包装）
	直流
	欧州で使用されるWEEE指令の適合表示
	韓国の国家統合認証表示
	オーストラリア・ニュージーランドの基準適合表示

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は、**危険**、**警告**、**注意**に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

△危険

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。

△警告

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

安全規則

一般的な電動工具の安全に関する警告

△警告

電動工具とともに提供される全ての安全上の警告、指示、図解および仕様をお読みください。

次に示す全ての指示に従わない場合には、感電、火災および重傷を負う恐れがあります。必要に応じて読むことができるように、全ての警告および指示を後日のために保管してください。

次に示す全ての警告における“電動工具”という用語は、電源式（コード付き）電動工具または、電池式（コードレス）電動工具を示す。

a) 一般的な電動工具の安全性に関する警告【作業場】

- 1) 作業場は整理整頓し、十分に明るくしてください。散らかった暗い場所で作業すると事故の原因となります。

- 2) 爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。電動工具から発生する火花は、粉じんまたは蒸気(ヒューム)を発火させることがあります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。

b) 一般的な電動工具の安全性に関する警告 【電気的安全性】

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。また、電源プラグを改造しないでください。アダプタープラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。改造していない電源プラグおよびそれに対応する電源コンセントを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと、身体を接触させないでください。
身体が接地されたものと接触した場合、感電する恐れがあります。
- 3) 電動工具を雨または湿気のある状態にさらさないでください。電動工具に水が入ると、感電する恐れがあります。
- 4) コードを乱暴に扱わないでください。コードを引っ張って電動工具を引き寄せたり、または電源プラグを抜くためにコードを引っ張らないでください。コードを熱、油、鋭利な角または動いているものに接触させないでください。コードが損傷したり絡まったりすると、感電する恐れがあります。
- 5) 電動工具を戸外で用いる場合は、戸外の使用に適した延長コードを使用してください。戸外の使用に適したコードを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 6) 電動工具を湿った場所で用いることが避けられない場合、漏電遮断器(RCD)によって保護された電源を使用してください。漏電遮断器(RCD)を使用することで、感電のリスクは低減されます。

c) 一般的な電動工具の安全性に関する警告 【人的安全性】

- 1) 電動工具の使用中は、油断をせず、現在、自分が何をしているかに注意してください。電動工具の使用中は、自らの動作に対

する作業安全を常に考慮してください。疲れている、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。電動工具の使用中的一瞬の不注意で、深刻な人的傷害を引き起こす恐れがあります。

- 2) 安全保護具を使用してください。常に、保護めがねを装着してください。防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に用いることで、傷害事故を低減することができます。
- 3) 意図しない始動を避けるため、スイッチに指をかけて電動工具を運ばないでください。電源プラグを差し込む前に、スイッチが“切”の位置にあることを確認してください。スイッチに指をかけて電動工具を運んだり、スイッチが“入”の位置になった電動工具の電源プラグを差し込むと、意図せず始動し事故の原因となる恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチを外してください。電動工具の回転部分に調整キーまたはレンチを付けたままにしておくと、人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 5) 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場およびバランスを維持してください。これによって、予期しない状況でも電動工具を適切に操作することができます。
- 6) だぶだぶの(余裕のある)衣服または装飾品は身に付けず、きちんとした服装で作業してください。髪、服および手袋を回転部分に近づけないでください。だぶだぶ(余裕のある)の衣類、装飾品または長髪で作業をすると、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用してください。これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。
- 8) 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。不注意な行動は、重大な傷害を引き起こす恐れがあります。

d) 一般的な電動工具の安全性に関する警告 【バッテリー電動工具の使用および手入れ】

- 1) 弊社が指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外では充電しないでください。

指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外で充電すると、火災を発生する恐れがあります。

- 2) 電動工具は、指定するバッテリー以外は、使用しないでください。指定していないバッテリーを使用すると、人的被害および火災のリスクを生じる恐れがあります。
- 3) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなどの金属物、または端子間を短絡する恐れがあるその他の小さな金属物と分けて保管してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災を生じる恐れがあります。
- 4) 過度な条件の下では、バッテリーから液体が漏えいすることがあります。バッテリーから漏えいした液体への接触は避けてください。漏えいした液体に接触した場合は、水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。バッテリーから漏えいした液体は、炎症またはやけどの原因となる恐れがあります。
- 5) 破損または改造したバッテリーや電動工具を使用しないでください。使用すると、火災や爆発、若しくはけが、予期しない動作を生じる恐れがあります。
- 6) 火または高温にバッテリーや電動工具をさらさないでください。火または130℃以上の温度にさらすと爆発する恐れがあります。
- 7) 取扱説明書の指示に従って充電してください。取扱説明書で指定する温度範囲外では、バッテリーまたは電動工具を充電しないでください。不適切または指定範囲外の温度で充電すると、バッテリーが損傷し、火災の危険が増大します。

e) 一般的な電動工具の安全性に関する警告 【修理】

- 1) 電動工具の修理は、資格を有する修理要員に純正交換部品だけを用いて修理するよう依頼してください。これによって、電動工具の安全性が維持できます。
- 2) 損傷したバッテリーは、修理しないでください。損傷したバッテリーの修理は、弊社または認定整備業者に依頼してください。

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コードレス電動工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

⚠危険

- ボッシュ専用の充電式バッテリー以外を使用しないでください。
- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。電動工具の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
- バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。
- ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
- バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。
- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- 電動工具やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管・放置しないでください。
- ◆ 発熱・発火・破裂・バッテリーの液漏れの恐れがあります。
- 専用の充電器以外では、充電しないでください。
- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでく

ださい。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

- バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。
- ◆ 短絡の恐れがあります。
- バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。
また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。
- ◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

- 正しく充電してください。
- ◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。
- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。
- 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
- 感電に注意してください。
- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
- 使用時間が極端に短くなったバッテリー

は使用しないでください。

- ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 充電式でないバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。
- フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、電動工具が冷めるための時間を設けてください。
- ◆ 複数個による連続作業は、電動工具に支障をきたすばかりでなく、電動工具の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。
- 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。
バッテリーから蒸気が発生する場合があります。
蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者 の 診 断 を 受 け て ください。
- ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
- 作業に合った電動工具を使用してください。
- ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
- この取扱説明書、およびボッシュカタログに記載されているアクセサリ以外は使用しないでください。
- ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
- 加工するものをしっかりと固定してください。
- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
- ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事

故の原因になります。

電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。

ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。

水配管の貫通は、器物破損の原因になります。

- 雨中での作業は行わないでください。また、電動工具を雨ざらしにしたり、ぬれた場所に置いたりしないでください。
- ◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。
- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉋物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
- 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。
- ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。
- 防音保護具を着用してください。
- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。
- きちんとした服装で作業してください。
- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでくださ

い。

- 電動工具にバッテリーを取り付けたり取り外したりするときは、スイッチが“切”になっていることを確認してください。
- ◆ スwitchが“入”になっている状態でバッテリーを取り付けたり取り外したりすると、事故の原因になります。
- 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- スwitchで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スwitchで制御できない電動工具は危険です。
修理を依頼してください。
- 作業中に電動工具の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスswitchを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはポッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
- ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
- 無理して使用しないでください。
- ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
- 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電動工具からバッテリーを取り外してください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、電動工具や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
- ◆ 容易に発火する恐れがあります。
- 定期的に電動工具の通気口を清掃してく

- ださい。
- ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
 - 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
 - ◆ 握り部が滑りやすいと、電動工具を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。
 - ◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。
 - ◆ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した電動工具の保守・点検・修理は受け付けできません。
 - 電動工具を火のそばや、高温の場所に置かないでください。
 - ◆ 爆発の恐れがあります。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 損傷した部品がないか点検してください。
 - ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
 - ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
 - ◆ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
 - 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
 - ◆ 電動工具やバッテリーを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や

夏の車内など)に保管しないでください。

- **安全上のご注意は、必ず守ってください。**
- ◆ 電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
- **電動工具の修理は、専門店に依頼してください。**
- ◆ サービスマン以外の人は電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。
- ◆ この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- **この電動工具は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使用しないでください。**
- ◆ この電動工具で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

● 搬送について

内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。第三者が運搬する場合(例えば空輸あるいは代理店経由)、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家に相談してください。

▲ 注意

- **先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
- ◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
- **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
- ◆ 材料や電動工具などを落としたときなど、事故の原因になります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

かくはん機についての注意事項

コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。ここでは、かくはん機をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

⚠警告

- 作業中に振り回されないよう、両手で電動工具を確実に保持してください。
- ◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。
- シンナーを溶剤とする塗料など、引火性の高い材料のかくはん作業には使用しないでください。
- ◆ 電動工具が発する火花によって爆発や火災につながる恐れがあります。

⚠注意

- かくはんする材料の安全データシート(SDS)に記載されている指示および安全上の注意に従ってください。
- ◆ かくはんする材料は健康を害する可能性があります。
- 作業するときは十分な換気を行ってください。
- ◆ 換気が悪いと、発生する蒸気を吸い込んだりする恐れがあります。
- 食品を混ぜないでください。
- ◆ 電動工具とその付属品は食品を加工するように設計されていません。
- 混合容器がしっかりとした安全な、安定した場所に設置されていることを確認してください。
- ◆ 適切に設置されていない容器は、予期せず動く可能性があり、事故やけがの原因になります。
- 電動工具の始動と停止は混合容器内でのみ行ってください。
- ◆ 混合容器内で行わないと、先端工具が曲がったり、制御不能に回転したりする恐れがあります。
- かくはん中は、混合容器に手を入れたり、他の物を入れたりしないでください。
- ◆ 先端工具と接触すると重傷を負う恐れがあります。

- スタンドなどの使用による定置作業は行わないでください。
- ◆ 電動工具は定置式での作業用に設計されていません。定置作業は、事故の原因になります。

本製品について

各部の名称

各部の名称の番号は、冒頭のイラスト内の番号を示しています。

- (1)メインスイッチのロック解除スイッチ
- (2)バッテリー*1
- (3)メインスイッチ
- (4)衝撃保護
- (5)速度調節ダイヤル
- (6)キックバック制御表示
- (7)ギア式2段変速スイッチ
- (8)バッテリー取り外しボタン
- (9)スピンドル
- (10)延長ホルダー(7cm)*1
- (11)両口スパナ
- (12)ミキシングブレード・シャフト*2
- (13)ハンドル(絶縁グリップ面)

*1 別売品

*2 市販品

標準付属品

モデル名	GRW 18V-160
型番	GRW 18V-160
ねじ変換アダプター	1個
両口スパナ (22×24mm/19×22mm)	各1本

仕様

本体

モデル名	GRW 18V-160
型番	GRW 18V-160
定格電圧	D.C.18V
回転数(無負荷時)*3	
ギア1(低速)	0~530min ⁻¹ (回転/分)
ギア2(高速)	0~720min ⁻¹ (回転/分)
ツールホルダー	M14 M12(ねじ変換アダプター)
ミキシングブレード径(最大)	
ギア1(低速)	160mm
ギア2(高速)	140mm

質量*4	
バッテリー未装着時	4.8kg
バッテリー装着時*5	5.8kg
推奨充電周囲 温度範囲	0°C~+35°C
使用可能周囲 温度範囲*6	-20°C~+50°C
保管可能周囲 温度範囲	-20°C~+50°C
推奨バッテリー	ProCORE 18V 5.5Ah以上
原産国	中国

*3 バッテリーProCORE 18V 8.0Ahを使用し、20~25°Cで測定。

*4 EPTAプロシーダー01/2014に準拠

*5 ProCORE 18V 8.0Ah装着時

*6 0°C以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

☞ 値は使用する工具の用途や環境条件により異なります。詳細についてはこちらをご覧ください。

www.bosch-professional.com/wac

使用可能ボッシュ充電器

品番	AL 18...*7 GAL 18... GAL 3680CV
----	---------------------------------------

使用可能ボッシュプロ用リチウムイオンバッテリー

品番	A 18...*7 GBA 18V... ProCORE 18V...
----	---

*7 ボッシュプロフェッショナル18Vシリーズに限る

使い方

バッテリーを準備する

☞ 本製品には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。

使用可能なバッテリー・充電器の品番は、『ボッシュ電動工具 プロ用製品カタログ』を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか?
- バッテリーから液漏れが発生していないか?
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか?
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか?

バッテリーを充電する

充電については、充電器に付属されている取扱説明書をお読みになり、正しく充電してください。

バッテリー残量表示

バッテリー(2)の残量状態を、バッテリー(2)のバッテリー残量表示ランプで確認することができます。

バッテリー(2)のバッテリー残量表示ボタンを押すと、バッテリー残量表示ランプが点灯します。

☞ 安全のため、本体が停止しているときのみ、充電状態を確認することができます。

☞ バッテリー残量表示ボタンを押しても、バッテリー残量表示ランプが1つも点灯・点滅しないときは、バッテリー(2)が損傷しています。

バッテリー(2)を交換してください。

☞ 充電状態は、バッテリー(2)を本体から外しても、確認できます。

GBA 18V...



バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色3つ点灯	60~100%
緑色2つ点灯	30~60%
緑色1つ点灯	5~30%
緑色1つ点滅	0~5%

ProCORE 18V...



バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色5つ点灯	80~100%
緑色4つ点灯	60~80%
緑色3つ点灯	40~60%
緑色2つ点灯	20~40%
緑色1つ点灯	5~20%
緑色1つ点滅	0~5%

バッテリーを取り付ける・取り外す

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、メインスイッチ(3)がロックされていることを確認してください。

⚠注意

- ◆ バッテリー(2)を取り付けたり取り外したりするときは、必要以上の力を加えないでください。

取り付け

バッテリー(2)を、本体のバッテリー差し込み口に“カチツ”“カチツ”と2回音がするまで押し込みます。

- ☞ 本機は、バッテリー取り外しボタン(8)が押されただけではバッテリー(2)が外れないよう、バッテリー(2)の取り付けが二重ロックになっています。

⚠注意

- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

取り外し

バッテリー取り外しボタン(8)を押しながら、バッテリー(2)を本体から引き抜きます。

- ☞ バッテリー(2)は、無理に引き抜かないでください。

作業前の準備をする

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときは、必ず本体からバッテリー(2)を取り外してください。

ミキシングブレード・シャフト(市販品)を選ぶ

取り付けられるミキシングブレード・シャフト(12)は、M14のオスネジ付きです。

ねじ変換アダプターを使用すると、M12のオスネジ付きも使用できます。

かくはんする材料に合ったミキシングブレード・シャフト(12)を選択してください。

低粘度材料をかくはんする

エマルジョンペイント、ニス、接着剤、グラウトコンパウンド、セメントスラリーなどの低粘度材料の場合は、左巻きのミキシングブレード・

シャフト(12)を使用します。

左巻きのミキシングブレード・シャフト(12)では、材料は上から下に向かってかくはんされます。

ミキシングブレード・シャフト(12)は上方に押し上げられます。

低粘度材料は、はね返りを最小限に抑える方法でかくはんされます。

高粘度材料をかくはんする

レディーミックスプラスター、コンクリート、セメント、スクリード、フィラー、エポキシ樹脂などの高粘度材料の場合は、右巻きのミキシングブレード・シャフト(12)を使用します。

右巻きのミキシングブレード・シャフト(12)では、材料は下から上に向かってかくはんされます。

ミキシングブレード・シャフト(12)は材料内に進みます。

高粘度材料は完全にかくはんされます。

延長ホルダー(別売品)を取り付ける・取り外す

必要に応じて、延長ホルダー(10)を取り付けてください。

延長ホルダー(10)を取り付けると、本体の作業高さを高くでき、背の高い作業員が作業しやすくなります。

延長ホルダーの長さ: 7cm

取り付け

1. 延長ホルダー(10)をスピンドル(9)にネジ込みます。
2. 標準付属品の両口スパナ(11)(二面幅22mm)を使用して、延長ホルダー(10)を締め付けます。

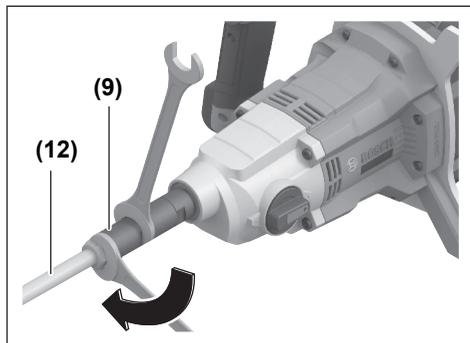
取り外し

1. 標準付属品の両口スパナ(11)(二面幅22mm)を使用して、延長ホルダー(10)を緩めます。
2. 延長ホルダー(10)を緩めて取り外します。

ミキシングブレード・シャフト(市販品)を取り付ける・取り外す

かくはんする材料に合ったミキシングブレード・シャフト(12)を取り付けてください。

取り付け



1. ミキシングブレード・シャフト(12)をスピンドル(9)にネジ込みます。
2. 標準付属品の両ロスパナ(11)(二面幅22mm)を使用してスピンドル(9)を保持し、標準付属品の両ロスパナ(11)(二面幅24mm)を使用してミキシングブレード・シャフト(12)のボルトを矢印の方向に回して締め付けます。

取り外し

1. 標準付属品の両ロスパナ(11)(二面幅22mm)を使用してスピンドル(9)を保持し、標準付属品の両ロスパナ(11)(二面幅24mm)を使用してミキシングブレード・シャフト(12)のボルトを緩めます。
2. ミキシングブレード・シャフト(12)を緩めて取り外します。

作業する

電子セル保護システム (ECP機能)

本機には、電子セル保護システム (ECP機能) がついております。

本体が過負荷になった場合や、バッテリーが過放電または作業可能温度範囲外になった場合、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

本体が自動で停止した状態でメインスイッチ(3)を“入”にし続けると、故障の原因になります。本体が突然停止したときは、作業を一時中断してください。

ソフトスタート

始動時の反動を低減します。

ソフトスタートは、メインスイッチ(3)を引き込むとゆっくりと速度を上げます。これにより、

かくはんする材料が飛び散るのを防ぎます。

一定電子制御

一定電子制御により、無負荷時と負荷時の振動をほぼ一定に保ち、安定した作業ができます。

コンスタントスピード



幅広い負荷範囲にわたって、設定範囲内でミキシングブレード・シャフト(12)の回転速度を一定に保ちます。これにより、効率の良い作業ができます。

キックバック防止機構



キックバック防止機構(キックバックコントロール)により、作業者は本体をより細かく制御でき、キックバック防止機構のない電動工具よりも優れた保護機能が得られます。本体は、突然予期せず回転軸の周りを回転すると、電源が“切”になります。この機構が作動した場合、キックバック制御表示(6)が赤く点滅してお知らせします。再始動させるには、メインスイッチ(3)を一度離して、再度引き込んで“入”にしてください。

☞ キックバック防止機能が故障していると、本体の電源を“入”にできなくなります。お買い求めの販売店または、ポッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

[1] ミキシングブレード・シャフト(12)を確認する

ミキシングブレード・シャフト(12)を確認します。

- ・作業に合ったミキシングブレード・シャフト(12)が取り付けられているか
- ・ミキシングブレード・シャフト(12)に損傷はないか

☞ ミキシングブレード・シャフト(12)が損傷していると、振動が大きくなったり、作業中に破損したりする恐れがあります。

[2] ギア式2段変速スイッチ(7)を切り替える

ギア式2段変速スイッチ(7)を回して、“1”または“2”に切り替えます。

ギア1:低速



遅い回転速度・高トルク
最大ミキシングブレード径160mm
高粘度の材料(固い材料)に最適

ギア2:高速



速い回転速度・低トルク
最大ミキシングブレード径140mm
低粘度の材料(緩い材料や液体材料)に最適

△注意

- ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、ギア式2段変速スイッチ(7)を切り替えてください。
- ◆ メインスイッチ(3)を引き込んでいるときは、ギア式2段変速スイッチ(7)を切り替えないでください。

[3] 速度調節ダイヤル(5)で回転速度を調節する

速度調節ダイヤル(5)の調節により、回転速度が調節できます。

回転速度を調節することにより、より材料に適したかくはんができます。

- ☞ 最適な回転速度は、かくはんする材料と作業条件によって異なります。
- ☞ 速度調節ダイヤル(5)は作業中でも調節できます。

[4] 本体にバッテリー(2)を取り付ける

12ページ「バッテリーを取り付ける・取り外す」参照

[5] ミキシングブレード・シャフト(12)を混合容器に入れる

ハンドル(13)を両手でしっかり持ち、ミキシングブレード・シャフト(12)を混合容器の中に入れます。

[6] 電源を“入”にする

メインスイッチロック解除スイッチ(1)を指で押して保持し、メインスイッチ(3)を引き込みます。

メインスイッチ(3)を引き込んだら、メインスイッチロック解除スイッチ(1)を離します。

△注意

- ◆ 電源は混合容器内でのみ“入”にしてください。
- ☞ メインスイッチ(3)は“入”の状態で固定されません。引き込み続けてください。
- ☞ メインスイッチ(3)を引き込む加減で、回転速度が調節できます。
軽く引き込むと低速で回転し、いっぱい引き込むと高速で回転します。

- ☞ 電源を切るときは、メインスイッチ(3)から指を離してください。

[7] かくはんする

ハンドル(13)を両手でしっかり持ち、本体を上下に動かします。

△警告

- ◆ 作業中に振り回されないよう、本体を確実に保持して作業してください。

△注意

- ◆ 材料を混合容器の外に跳ね飛ばさないように注意してください。
材料が跳ね飛ばされると、滑ったりして本体が制御できなくなる恐れがあります。
- ☞ 低速で長時間作業しないでください。
モーターが過熱する恐れがあります。

[8] 作業を終了する

メインスイッチ(3)から指を離して電源を“切”にします。

△注意

- ◆ ミキシングブレード・シャフト(12)は、まだ混合容器から出さないでください。
- ◆ ミキシングブレード・シャフト(12)の動きが完全に止まってから、置いてください。

[9] ミキシングブレード・シャフト(12)を混合容器から取り出す

ミキシングブレード・シャフト(12)の動きが完全に止まったことを確認し、混合容器からミキシングブレード・シャフト(12)を取り出します。

- ☞ 使用後はミキシングブレード・シャフト(12)を清掃してください。

バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間(6か月以上)使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は、使用を中止し、充電してください。

リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ポッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポッシュ電動工具取扱店、ポッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



<http://www.jbrc.com/>



Li-ion

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますようお願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

お手入れと保管

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー(2)を本体から取り外して、お手入れしてください。

クリーニング

ミキシングブレード・シャフト(12)を掃除する

水などで、付着した材料などを洗い流します。

通風口などに付いたホコリを吹き飛ばす

- ☞ 本体にホコリがたまると故障の原因になります。

バッテリー取り外しボタンやバッテリー装着部分に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

- ☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

保管

使った後は、バッテリー(2)を取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になる場所に置かない。特に、50℃以上になる場所に置かない。
- バッテリーは、-20℃～+50℃の範囲で保管する。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼る。
- 横に寝かせて置くなど、本体が倒れないようにする

廃棄について

バッテリー以外の本体および付属品の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

メインスイッチ(3)を“入”にしても作動しない

原因	対処
バッテリー(2)が取り付けられていない	バッテリー(2)を取り付ける

原因	対処
バッテリー(2)が消耗している (電子セル保護システムが作動した)	バッテリー(2)を充電するか交換する
バッテリー(2)の温度が最適温度範囲外になっている	バッテリー(2)が最適温度範囲内になるまで待つ
本体の温度が最適温度範囲外になっている	作業可能温度範囲内になるまで待つ
本体が故障している	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する

メインスイッチ(3)が引き込めない

原因	対処
メインスイッチロック解除スイッチ(1)がロックの位置になっている	メインスイッチロック解除スイッチ(1)を解除する

メインスイッチ(3)を“切”にしても、作動したまま止まらない

原因	対処
内部パーツの不良	バッテリー(2)を取り外し、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する

回転数が少ない

原因	対処
速度調節ダイヤル(5)の設定が低くなっている	速度調節ダイヤル(5)を調節する

充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い

原因	対処
バッテリー(2)が購入直後か、長時間使用していない	バッテリー(2)を充電する
バッテリー(2)の寿命が尽きた	バッテリー(2)を交換する

修理を依頼するときは

- ◆『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。

- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813

埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4

TEL 0493-56-5030

FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104

福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486

FAX 092-963-3407

保証サービスについて

プロ用電動工具・メジャーリングツール保証サービス『PRO360』のご案内

2022年10月より、弊社ホームページからユーザー登録をしていただいたお客様を対象に、購入日より2年間の保証サービスを実施させていただきます。

保証サービスの詳細および登録に関しては、弊社ホームページまたは下記URLでご確認ください。

<https://www.bosch-professional.jp/jp/ja/service/>



ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ:<http://www.bosch.co.jp>

〒224-0003

神奈川県横浜市都筑区中川中央1丁目9-32

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30)

1 609 92A 9MN (2024.08)



1 609 92A 9MN

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。